

シリーズ：子どもの権利 「子どもにやさしいまち」をめざして NO.2

子どもの参加と意見表明を考える～「せんなん子ども会議」の設置にむけて～

2月広報にも記載しましたが、「泉南市子どもの権利に関する条例」では、「せんなん子ども会議」を設置することになっています。この会議は、単なる一過性のイベントではなく、継続的に実施され、子どもの視点で街づくり等について議論を積み上げていく性質をもった会議です。設置されてすでに10年が過ぎた自治体では、子ども会議で育った青年が、現在の子どもの会議の企画や運営を担っていると聞いています。その他の自治体でも、「ECOで楽しいA市」「10年後のB市」「C公園を考える」など、それぞれの実情に合わせてテーマを決め、取り組みをすすめているようです。子ども会議を設置している自治体では、子どもたちが街づくりについて、安心して自由に意見を出し合える場となるように、職員やサポーターは、子どもが参加しやすい方法を模索しながら実践しています。

泉南市では「せんなん子ども会議」の設置にむけて、チームNSC（Next Sennan Children）として、半年間にわたって活動を行ってききましたが、新年度には、「せんなん子ども会議」の新メンバーを募集します。

「せんなん子ども会議」は、学校や学年の異なる子どもたちと交流しながら、泉南市について考えるいい機会になると思います。社会参加を意識した取り組みの中で、意見を表明する力、人と対話する力が育つことと期待しています。

ぜひ、募集が始まった際には、身近な子どもたち（小・中学生・高校生）へのお誘いをよろしくお願い致します。

【問合せ】 泉南市子どもの権利に関する条例事務局
(人権教育課 ☎ 483-3672)